



公益財団法人日本賃貸住宅管理協会



公益財団法人 日本賃貸住宅管理協会

日本賃貸住宅管理協会とは



日管協とは全国の**賃貸住宅管理会社、関連会社**で組織された賃貸住宅管理業界の適正化と発展を目指す公益法人の業界団体です。

組織図

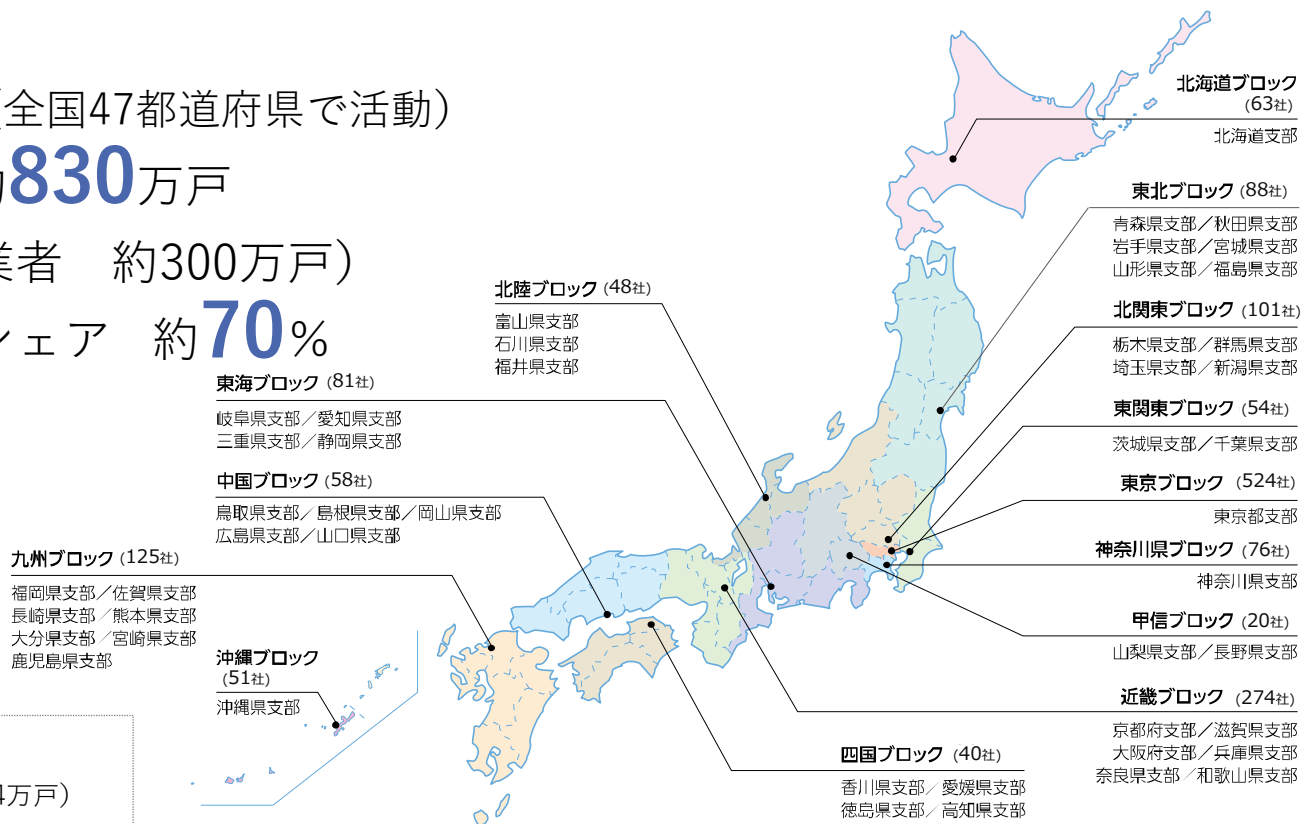
会員数 **1,643**社 (全国47都道府県で活動)

会員の総管理戸数 約**830**万戸

(うちサブリース事業者 約300万戸)

全国委託管理戸数のシェア 約**70**%

※令和2年7月時点



<参考> 民間借家 1,468万戸
(委託管理1,174万戸 : 自主管理294万戸)
※国土交通省「賃貸住宅市場の実態調査」より

日管協ロゴマークのコンセプト



幸福のシンボルであるクローバーをモチーフに、当協会が親しみを持って世の中に受け入れられることを目指して策定しました。小葉はそれぞれ、賃貸住宅市場に関わりの深い「借主」「貸主」「会員（管理業者・関連業者）」「社会（地域・環境）」を表し、お互いの結びつきを一筆書きで表現しています。

◆当協会の取組状況

○オーナー向けセミナー等を通じて、オーナーへの理解と拒否感解消のため、住宅セーフティネット度の普及促進

○協会内部のサブリース事業者協議会にて、
(82社所属、300万戸) 大規模にサブリース物件の登録促進



サブリース会員企業の管理物件約70万戸の登録を調整中。
引き続き、住宅セーフティネット制度の啓発を実施し、
会員の管理物件の登録を推進

◆活動内容：住宅確保用配慮者に対し、以下の支援を実施

(1)入居前の支援

○相談窓口等による電話相談対応

○セーフティネット住宅情報提供システムの有効活用等

(2)入居中の支援

○電話等による賃貸中における生活支援

○補助金の紹介などにより安定した住環境の継続支援

◆支援対象：低額所得者、被災者、高齢者、障がい者 等

◆件数：昨年度は63件の相談



今年度はコロナウイルス感染症の拡大に伴い、低額所得者等の相談が急増し、今年度3か月で100件を超える相談。